

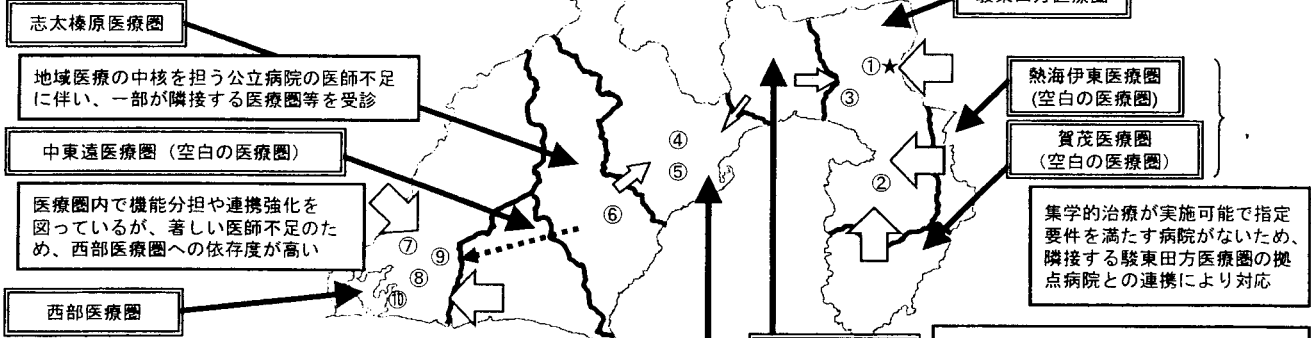
22 静岡県

資料 1

静岡県 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向等

- ①静岡県立静岡がんセンター★（平成18年8月24日）
- ②順天堂大学医学部附属静岡病院（平成19年1月31日）
- ③沼津市立病院（平成19年1月31日）
- ④静岡県立総合病院（平成20年2月8日）
- ⑤静岡市立静岡病院（平成19年1月31日）
- ⑥藤枝市立総合病院（平成19年1月31日）
- ⑦聖隷三方原病院（平成20年2月8日）
- ⑧聖隷浜松病院（平成20年2月8日）
- ⑨浜松医科大学医学部附属病院（平成19年1月31日）
- ⑩県西部浜松医療センター（平成19年1月31日）

病院名	地域分担	過去申請時の機能分担
①静岡県立静岡がんセンター★	全県及び駿東田方医療圏	県拠点病院業務全般
②順天堂大学医学部附属静岡病院	駿東田方、賀茂及び熱海伊東医療圏	賀茂圏域及び熱海伊東圏域における地域拠点病院業務
③沼津市立病院	駿東田方及び熱海伊東医療圏	病診連携などの地域連携の中心



志太榛原医療圏

地域医療の中核を担う公立病院の医師不足に伴い、一部が隣接する医療圏等を受診

中東遠医療圏（空白の医療圏）

医療圏内で機能分担や連携強化を図っているが、著しい医師不足のため、西部医療圏への依存度が高い

西部医療圏

駿東田方医療圏

熱海伊東医療圏（空白の医療圏）

賀茂医療圏（空白の医療圏）

集学的治療が実施可能で指定要件を満たす病院がないため、隣接する駿東田方医療圏の拠点病院との連携により対応

富士医療圏（空白の医療圏）

静岡医療圏

医療圏内に指定要件を満たす病院はないが、医療圏内にある集学的治療が実施できる複数の医療機関を受診するほか、一部が隣接する医療圏の拠点病院を受診

病院名	地域分担	過去申請時の機能分担
⑦聖隷三方原病院	医療圏の北部	地域拠点病院業務全般
⑧聖隷浜松病院	医療圏の中心部	地域拠点病院業務全般
⑨浜松医科大学医学部附属病院	西部及び中東遠医療圏	・人材養成の中心 ・中東遠圏域における地域拠点業務全般
⑩県西部浜松医療センター	医療圏の南部、西部	医師会病院として発足した経緯から地域連携の中心

病院名	地域分担	過去申請時の機能分担
④静岡県立総合病院	医療圏の北部、東部	①に次ぐ基幹的位置付け
⑤静岡市立静岡病院	医療圏の南部	地元医師会とのオープンシステムによる地域連携の中心

※()内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値 ※申請区分は資料3の作成要領を参照のこと
 ※一枚につき11病院を超える場合には、2枚にわたって表を作成してください。

資料2

都道府県 申請区分 地域	病院名	年間入院患者数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計											放射線治療		がんに係る薬物療法(6月~7月の集計)		緩和ケア	相談支援センター	地域連携
		年間新入院患者数(1月~12月)	年間新入院患者数に占めるがん患者の割合(%)	悪性腫瘍手術総数	肺がん		胃がん手術		大腸がん手術		肝臓がん		乳がん		年間患者実数(1月~12月)		薬物療法の実患者数				
					開胸手術	胸腔鏡手術	開腹手術	内視鏡手術 粘膜炎切除術(EMR)	開腹手術	内視鏡手術	開腹手術	ラジオ波焼灼療法	乳癌手術	乳房再建術(乳房切除後)二期的に行うもの	体外照射	小線源治療	入院患者数	外来患者数			
1	★ 更新 静岡県立静岡がんセンター	(11,319) 11,791	(93.6) 93.7	(707) 783	(24) 32	(3) 2	(46) 60	(0) 0	(44) 23	(20) 15	(14) 10	(6) 17	(51) 52	(0) 0	(1,560) 1,762	(36) 73	(1,669) 1,399	(2,456) 2,553	(138) 142	(1,982) 2,048	(0) 0
2	更新 順天堂大学医学部附属静岡病院	(1,498) 1,895	(13.3) 16.6	(97) 126	(5) 1	(1) 4	(14) 10	(1) 1	(10) 25	(4) 0	(16) 3	(4) 11	(0) 0	(177) 259	(0) 0	(53) 900	(164) 221	(9) 14	(107) 155	(0) 0	
3	更新 沼津市立病院	(1,887) 1,535	(21.2) 17.1	(24) 41	(0) 3	(2) 1	(6) 5	(0) 2	(4) 4	(4) 3	(0) 0	(14) 16	(7) 7	(0) 0	(314) 276	(0) 0	(203) 70	(49) 204	(5) 8	(69) 92	(0) 0
4	更新 静岡県立総合病院	(5,652) 5,641	(38.2) 38.6	(304) 302	(1) 2	(15) 16	(25) 18	(14) 13	(39) 37	(6) 14	(3) 8	(27) 50	(50) 55	(0) 0	(748) 643	(18) 8	(214) 156	(650) 533	(33) 40	(49) 337	(0) 1
5	更新 静岡市立静岡病院	(1,225) 1,501	(10.7) 13.2	(79) 89	(4) 2	(11) 9	(4) 6	(0) 0	(7) 18	(5) 42	(1) 1	(0) 8	(9) 7	(0) 0	(229) 218	(0) 0	(262) 125	(222) 157	(4) 5	(30) 39	(0) 0
6	更新 藤枝市立総合病院	(2,049) 2,007	(18.7) 20.0	(56) 116	(2) 0	(6) 6	(14) 11	(0) 0	(6) 11	(4) 7	(1) 1	(2) 0	(13) 19	(0) 0	(302) 295	(0) 0	(59) 176	(158) 189	(36) 32	(49) 65	(0) 0
7	更新 聖隷三方原病院	(3,234) 2,758	(20.9) 18.1	(155) 130	(5) 7	(27) 29	(10) 9	(0) 4	(20) 13	(0) 3	(0) 0	(1) 2	(13) 15	(0) 0	(369) 392	(7) 16	(178) 161	(166) 195	(45) 52	(465) 546	(5) 2
8	更新 聖隷浜松病院	(3,860) 3,971	(19.3) 20.4	(179) 192	(0) 2	(17) 17	(17) 18	(0) 0	(31) 24	(1) 4	(0) 2	(0) 3	(41) 44	(0) 0	(431) 708	(0) 0	(274) 772	(331) 1,144	(42) 25	(533) 345	(12) 22
9	更新 浜松医科大学医学部附属病院	(1,907) 2,521	(20.5) 26.3	(143) 153	(0) 0	(2) 0	(14) 17	(1) 0	(9) 9	(0) 3	(4) 10	(1) 3	(8) 8	(0) 0	(80) 231	(80) 137	(164) 177	(571) 242	(6) 10	(187) 141	(0) 3
10	更新 県西部浜松医療センター	(2,424) 2,181	(18.4) 17.3	(118) 128	(0) 0	(12) 19	(4) 14	(2) 0	(17) 3	(2) 0	(1) 4	(5) 3	(21) 26	(0) 0	(253) 294	(0) 0	(315) 395	(448) 278	(28) 19	(32) 216	(3) 2
11	新規 磐田市立総合病院	(2,022) 1,806	(20.3) 17.8	(87) 140	(2) 0	(4) 6	(12) 7	(0) 0	(23) 17	(0) 1	(2) 8	(0) 5	(15) 10	(0) 0	(231) 291	(0) 0	(261) 113	(188) 146	(15) 28	(6) 222	(0) 0

静岡県 平成22年度の指定推薦状況と予想される患者受療動向

資料3

①静岡県立静岡がんセンター★(更新)
 ②順天堂大学医学部附属静岡病院(更新)
 ③沼津市立病院(更新)
 ④静岡県立総合病院(更新)
 ⑤静岡市立静岡病院(更新)
 ⑥藤枝市立総合病院(更新)
 ⑦聖隷三方原病院(更新)
 ⑧聖隷浜松病院(更新)
 ⑨浜松医科大学医学部附属病院(更新)
 ⑩県西部浜松医療センター(更新)
 ⑪磐田市立総合病院(新規)

病院名	地域分担	機能分担
①静岡県立静岡がんセンター★	①が県東部を中心に県全域をカバーするほか、3病院で駿東田方、賀茂及び熱海伊東医療圏における連携体制の充実・強化を図る。	県拠点病院機能全般 県全体の医療連携
②順天堂大学医学部附属静岡病院		主に伊豆地域の医療連携
③沼津市立病院		主に駿東地域の医療連携

⑥を含む医療圏内の医療機関による連携体制の充実・強化を図るが、隣接する医療圏等に一部が受診

⑪を中心に医療圏内の受け入れ体制の充実・強化を図るが、当面、西部医療圏に一定数が受診

集学的治療が実施できる医療機関がないため、引き続き、隣接する駿東田方医療圏の拠点病院との連携対応体制の充実・強化により対応

集学的治療が実施できる医療機関を中心とした連携体制の充実・強化を図るが、隣接する医療圏に一部が受診

病院名	地域分担	機能分担	部位別その他機能
⑦聖隷三方原病院	北部~北西部	緩和ケア	肺、大腸 相談支援
⑧聖隷浜松病院	中部~南東部	集学的治療	胃、乳、大腸 臨床試験
⑨浜松医科大学医学部附属病院	東部~北東部	人材育成	胃、肝 県内唯一の医学部
⑩県西部浜松医療センター	西部~南西部	地域連携	肺、乳、先端技術 オープンシステム

病院名	地域分担	機能分担
④静岡県立総合病院	中心部~北部 隣接医療圏の一部	集学的治療
⑤静岡市立静岡病院	中心部~南部	地域連携、共同診療、 情報提供

1 静岡県における平成22年度の指定推薦の考え方等

平成21年2月3日開催の第5回がん診療連携拠点病院の指定に関する検討会資料「新要件に基づくがん診療連携拠点病院の指定の考え方」に基づき、県内の医療機関における指定要件の充足状況等を確認の上、指定推薦する医療機関について静岡県がん対策推進協議会の了承を得た。

2 指定要件の充足状況及び指定推薦する医療機関数

(1) 指定要件の充足状況

- ・本県に4カ所ある空白の医療圏(静岡県の2次医療圏数:8)のうち、中東遠医療圏に位置する1病院が新たに指定要件を充足
- ・既指定の10病院はいずれも指定要件を充足
- ・さらに、志太榛原医療圏に位置する1病院が新たに指定要件を充足したため、県内では12病院が指定要件を充足

(2) 指定推薦する医療機関数

指定推薦の考え方に基づき、2病院が指定要件を充足した志太榛原医療圏からは既指定の1病院のみを指定推薦(更新)することとし、残る既指定の9病院及び中東遠医療圏で新たに指定要件を充足した1病院の計11病院を推定推薦する。

2次医療圏名	賀茂	熱海伊東	駿東田方	富士	静岡	志太榛原	中東遠	西部	計
指定要件充足数(うち新規)	0	0	3(0)	0	2(0)	2(1)	1(1)	4(0)	12(2)
指定推薦数(うち新規)	0	0	3(0)	0	2(0)	1(0)	1(1)	4(0)	11(1)

3 2次医療圏を超える数の医療機関を指定推薦する理由

「静岡県がん対策推進計画」の全体目標である「がんによる死亡者数の減少」を達成するため、がん医療の分野では、推薦する11病院が牽引役となって、以下の項目を重点的に強化していく必要がある。

- (1) 専門的ながん医療の提供体制の確保によるがんの治療成績の向上
国の整備指針に基づく集学的治療、緩和ケア等の提供体制が確保された医療機関におけるがん患者の治療割合を高めることにより、がんの治療成績を向上させる。

県内がん死亡患者数(がん死亡者総数に占める割合)
既指定10病院 → 今回指定推薦11病院
計3,638人(36.8%) 計3,869人(39.1%)

- (2) 地域連携クリティカルパスの活用によるがん医療の提供体制の充実
地域連携クリティカルパスを活用している医療圏のノウハウを全県で共有し、身近なかかりつけの医療機関からがん診療連携拠点病院までの連携体制を強化し、がん医療の提供体制をさらに充実させる。

拠点病院紹介・受入件数合計
今回指定推薦11病院の実績 静岡医療圏並みに強化
延べ26,980件 → 延べ63,943件(2.4倍)

- (3) 治療の初期段階からの緩和ケアの提供

国の目標である「すべてのがん診療に携わる医師の緩和ケアに関する基本的な知識の習得」を達成することで、治療早期から質の高い緩和ケアの提供体制を確保し、がん患者の療養生活の質を向上を図る。

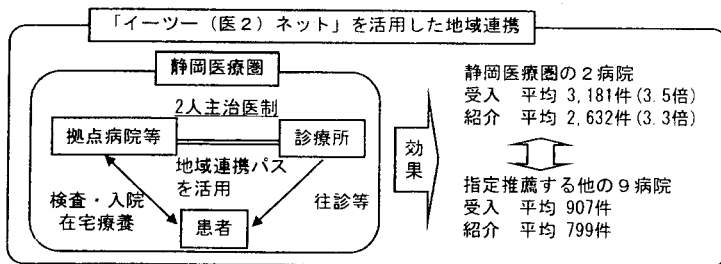
がん診療に携わる県内医師数: 少なくとも3,674人
(5大がんを診療する主な診療科の医師数: 平成20年医師・歯科医師・薬剤師調査)
250人(今回指定推薦11病院の実績) × 年2回 × 5年
= 2,500人 < 3,674人 (最低約1.5倍の実績が必要)

- (4) 標準的な院内がん登録に基づく指標を活用したがん対策の推進
がん診療連携拠点病院によるがん登録のデータを活用して、限られた医療提供体制においてもできるだけ効果の高いがん対策を推進

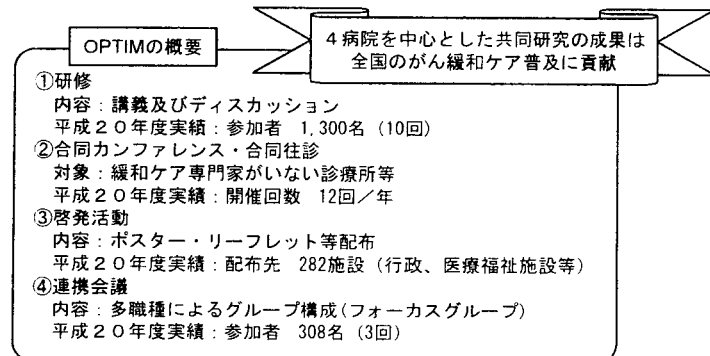
院内がん登録件数(県外患者を除く)
既指定10病院 → 今回指定推薦11病院
計13,460件 計14,071件(+611件、4.3%)
(比較) 複数指定の医療圏でそれぞれ1病院を減じた場合
東部医療圏 静岡医療圏 西部医療圏
-985件(-7.3%) -1,203件(-8.9%) -1,234件(-9.2%)

4 2次医療圏を超える数の医療機関を指定推薦する理由に関する参考資料

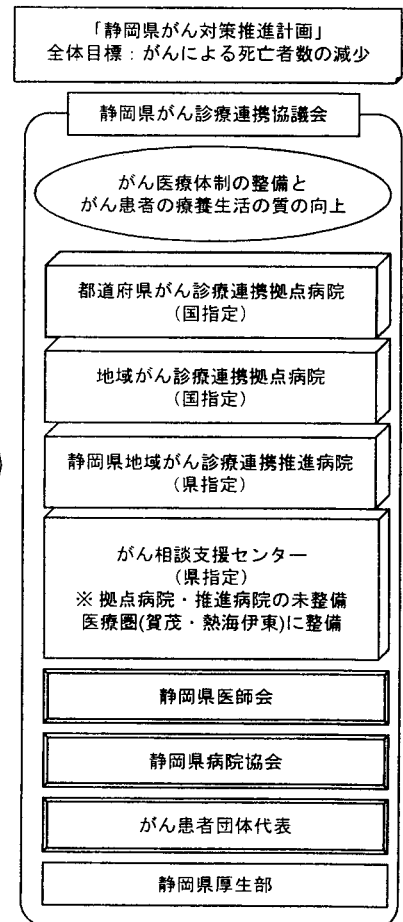
- (1) 静岡医療圏における「静岡がん診療地域連携協議会(s-net)」による2人主治医制による病診連携(イーツー(医2)ネット)の概要及び効果



- (2) 西部医療圏における「緩和ケア普及のための地域介入研究(OPTIM)」の概要及び効果
- ・国の第3次対がん総合戦略研究における平成20年度から3年間のアウトカム研究
 - ・総合病院(地域がん診療連携拠点病院)を中心とした緩和ケアの地域モデル(他の介入地域: がん専門病院が中心の地域、医師会が中心の地域、未整備の地域)
 - ・研究内容は、西部医療圏の4つの地域がん診療連携拠点病院で構成された「静岡県西部がん診療連携拠点病院協議会」(※)において協議
 - ※ 本県における緩和ケア医師研修(単体型プログラム)の原案、教材も作成
 - ・参加者(171施設・378名)の9割以上が「役立つ」と評価



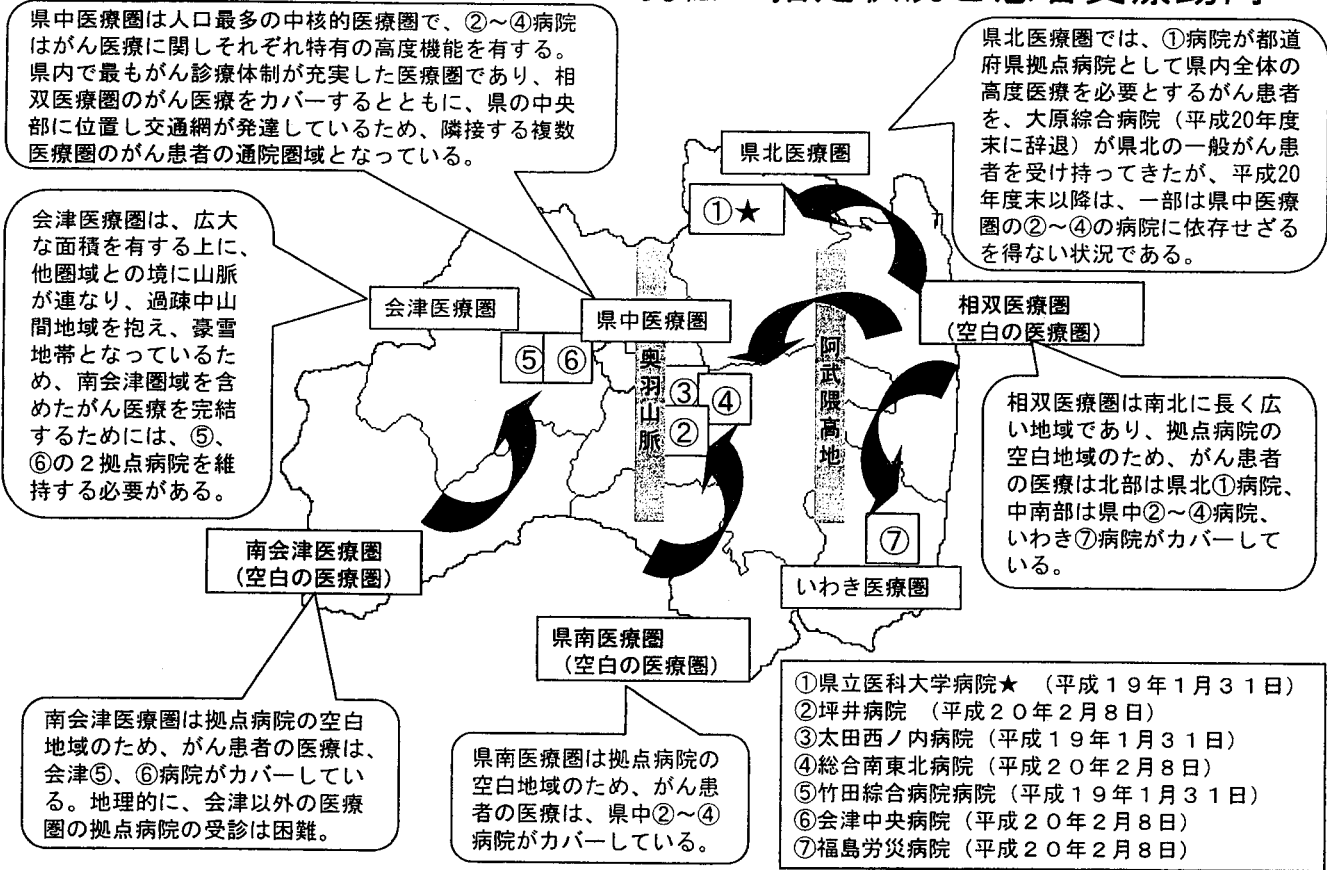
成果等の共有



7 福島県

資料 1

福島県平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向



※()内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値 ※申請区分は資料3の作成要領を参照のこと
 ※一枚につき11病院を超える場合には、2枚にわたって表を作成してください。

No.	更新/新規	名称	年間入院患者数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計										放射線治療		薬物療法(6~7月の集計)		緩和ケア		相談支援センター		退院時共同指導料2	
			年間入院患者数(1~12月)	年間新入院患者数に占めるがん患者の割合(%)	肺がん		胃がん手術		大腸がん手術		肝臓がん		乳がん		年間患者実数(1月~12月)		薬物療法のべ患者数		緩和ケアチームに対する新規診療依頼数(6~7月の集計)		相談支援センター相談件数(6~7月の集計)		退院時共同指導料2(6~7月の集計)	
					開胸手術	胸腔鏡下手術	開腹手術	内視鏡手術 粘膜切除術(EMR)	開腹手術	内視鏡手術	開腹手術	ラジオ波焼灼療法	乳癌手術	乳房再建術(乳房切除後)二期的に行うもの	体外照射	小線源治療	入院患者数	外来患者数						
1	★	更新 県立医大	(3258)	(27.9)	(276)	(7)	(11)	(6)	(0)	(13)	(0)	(3)	(2)	(27)	(0)	(665)	(13)	(266)	(186)	(26)	(24)	(24)	(0)	
			4482	36.5	209	27	11	10	0	13	5	7	0	43	1	694	6	276	182	30	134	0		
2		更新 坪井病院	(1741)	(51.3)	(77)	(5)	(0)	(5)	(0)	(11)	(16)	(1)	(3)	(3)	(0)	(143)	(0)	(100)	(41)	(2)	(170)	(0)		
			1837	54.7	50	8	0	4	0	6	8	0	1	9	0	137	0	118	80	12	99	0		
3		更新 太田西ノ内	()	(8.9)	(174)	(5)	(4)	(22)	(0)	(28)	(5)	(4)	(18)	(6)	(0)	(403)	(0)	(423)	(274)	(4)	(61)	(1)		
			3292	19.7	133	3	9	15	1	37	15	8	13	1	10	398	0	560	307	13	87	2		
4		更新 南東北	(2380)	(23.4)	(149)	(5)	(4)	(22)	(1)	(23)	(67)	(1)	(0)	(2)	(0)	(317)	(5)	(159)	(571)	(3)	(1124)	(0)		
			2938	27.6	228	2	5	14	1	10	50	3	0	9	0	301	10	255	635	12	505	0		
5		更新 竹田総合	(2760)	(22)	(178)	(4)	(15)	(11)	(1)	(27)	(5)	(7)	(3)	(9)	(0)	(265)	(0)	(183)	()	(8)	(28)	(0)		
			2241	18.6	158	1	8	13	1	18	0	0	1	6	2	213	0	207	157	4	19	0		
6		更新 会津中央	(1729)	(17.3)	(79)	(0)	(7)	(7)	(0)	(7)	(0)	(1)	(0)	(8)	(0)	(174)	(0)	(105)	(110)	(18)	(4)	(0)		
			2125	20.8	75	4	0	13	0	8	0	1	0	6	1	193	14	97	58	7	9	0		
7		更新 福島労災	(1872)	(32.4)	(71)	(0)	(0)	(13)	(1)	(30)	(7)	(2)	(7)	(4)	(0)	(114)	(0)	(22)	()	(5)	(436)	(0)		
			1724	29.2	82	0	0	20	0	18	57	1	3	3	0	69	0	51	69	7	419	0		
8		新規 白河厚生	1761	20.2	70	0	0	3	0	5	5	0	3	7	0	138	0	146	150	8	21	0		
9		新規 磐城共立	3114	22.9	121	6	10	12	3	16	0	2	3	3	0	264	0	225	224	9	8	0		

福島県 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向

最多人口の県中医療圏では、②～④拠点病院が圏域内の多くのがん患者の医療を担うとともに、新たに県北圏域、依然として県南圏域のがん医療をカバーしなければならない。また、各々の拠点病院が有する放射線治療等高度医療機能は全県的に利用されており、3拠点病院において「がん診療連携フォーラム」を設置し、役割分担をしながら、がん診療に対応している。

県北医療圏に住むがん患者は、①の病院が受け持っているが、相双医療圏の北部の患者等も受療しており、また、都道府県がん診療連携拠点病院の役割も果たすことを考慮すると、①の病院の負担が大きい。

相双医療圏は依然として拠点病院の空白地域であり、この圏域のがん医療は他圏域の拠点病院に依存しなければならない。しかし、地理的に不便な県中医療圏への入院を減らす対策が必要。

会津医療圏のがん医療を確保し、南会津医療圏のがん医療をカバーするために、引き続き⑤、⑥の2拠点病院体制を維持する必要がある。

南会津医療圏は依然として拠点病院の空白地域であるため、がん医療については引き続き、会津医療圏の⑤、⑥拠点病院でカバーする必要がある。

空白医療圏であったため、県中医療圏域の拠点病院がこの圏域のがん医療をカバーしていたが、新たに⑧病院を拠点病院として整備することにより、当該圏域内のがん医療を確保するとともに、県中医療圏および栃木県のがん患者の通院圏域として機能する必要がある。

いわき医療圏に住むがん患者の受入体制を強化し、さらに相双医療圏の特に南部のがん患者の医療を一層カバーするため、また茨城県のがん患者の通院圏域であることから、新たに⑨病院の指定が必要である。

- ① 医大附属病院★ (更新)
- ② 坪井病院 (更新)
- ③ 太田西ノ内病院 (更新)
- ④ 総合南東北病院 (更新)
- ⑤ 竹田総合病院 (更新)
- ⑥ 会津中央病院 (更新)
- ⑦ 福島労災病院 (更新)
- ⑧ 白河厚生総合病院 (新規)
- ⑨ 磐城共立病院 (新規)

福島県におけるがん診療連携拠点病院の指定推薦について

- 今般申請している9病院は、平成19年度に策定した「第5次福島県医療計画」において、集学的治療が可能であるなど専門的ながん診療を行う医療機関として位置付けられている。
- 本県には、現在、7つのがん診療連携拠点病院（20年度末までは8病院であったが、1病院が辞退）が存在するが、がん診療連携拠点病院が存在しない二次医療圏が存在すること、専門医等の確保が困難な状況が続いていることから、空白医療圏を中心に更なるがん診療連携拠点病院の整備を促進し、連携して包括的ながん医療の確保を図る必要がある。
- 「福島県地域がん医療検討会」において総合的に検討した結果、広大な面積を有する本県において、がん罹患しても入院・在宅医療や回復・長期療養等、必要とするがん保健医療福祉サービスを適宜包括的に受けることが可能で、安心して生活を送ることができるよう、下記の理由から、今般申請のあった9箇所すべてを指定推薦することが妥当との結論に達した。

福島県におけるがん診療連携拠点病院の指定推薦について

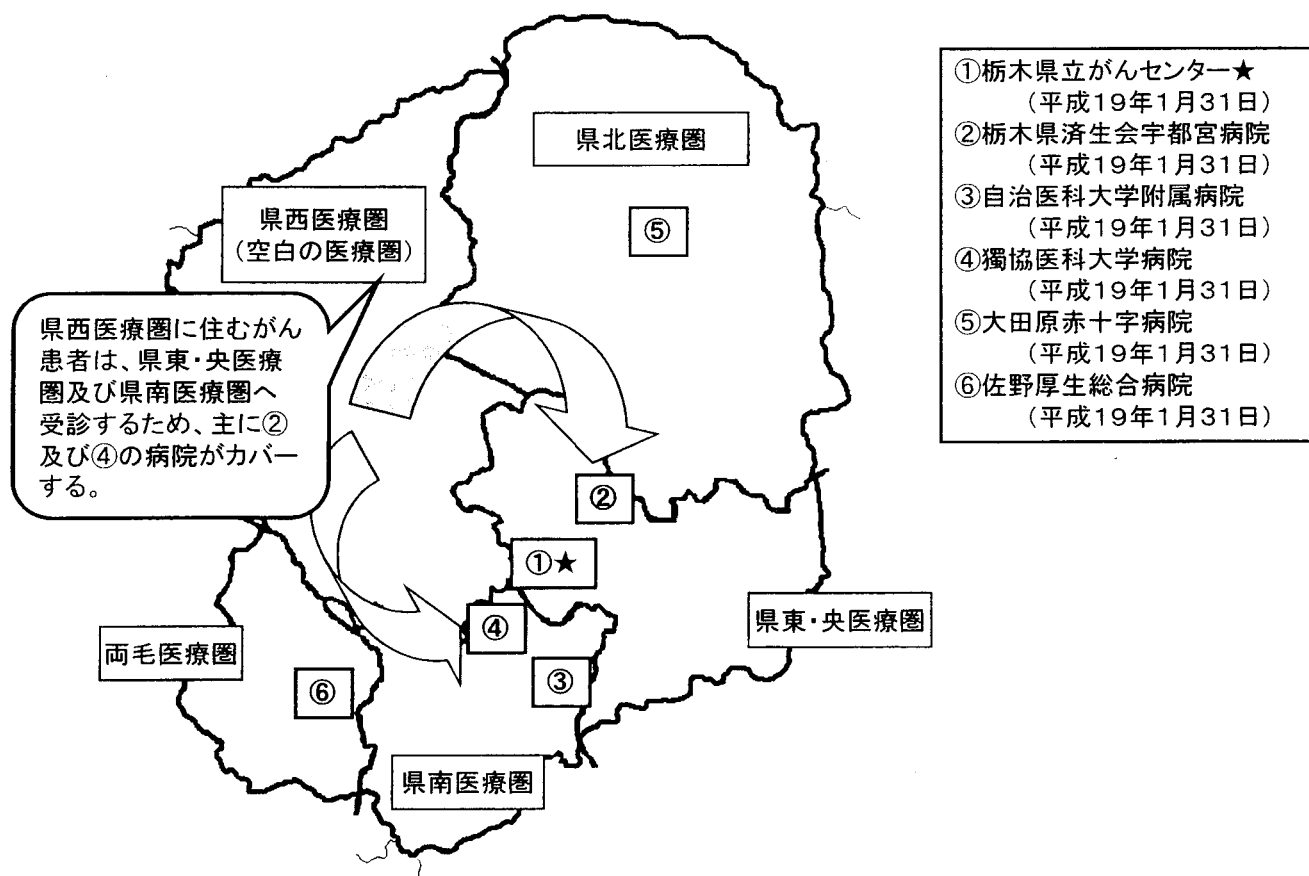
- 1 これまで空白医療圏であった県南医療圏から新たな申請があった福島県厚生農業協同組合連合会白河厚生総合病院は是非推薦すべきであること。
- 2 県中圏域、会津圏域に加え、いわき圏域に複数のがん診療連携拠点病院を整備し、未だ空白圏域となっている相双圏域と南会津圏域をカバーするとともに、新たに県北圏域の一部をカバーする体制を整備することにより、引き続き都道府県がん診療連携拠点病院機能を担うべき福島県立医科大学附属病院に地域がん診療連携拠点病院の指導や関係者の研修機能等を一層発揮してもらう必要があること。
- 3 広大かつ中山間地域が多い等地理的特性を有する県内のがん医療の均てん化を図るには、9拠点病院が得意とする診療範囲・診療技術を最大限に活用するとともに、9拠点病院の緊密な連携により役割分担を図りながら、治療の初期段階からの緩和ケア推進、地域連携クリティカルパス導入促進、地域がん登録等情報の収集・分析・がん診療評価を行うためのシステム構築などを行うべきであること。

9 栃 木 県

-28-

資料 1

栃木県 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向



-29-

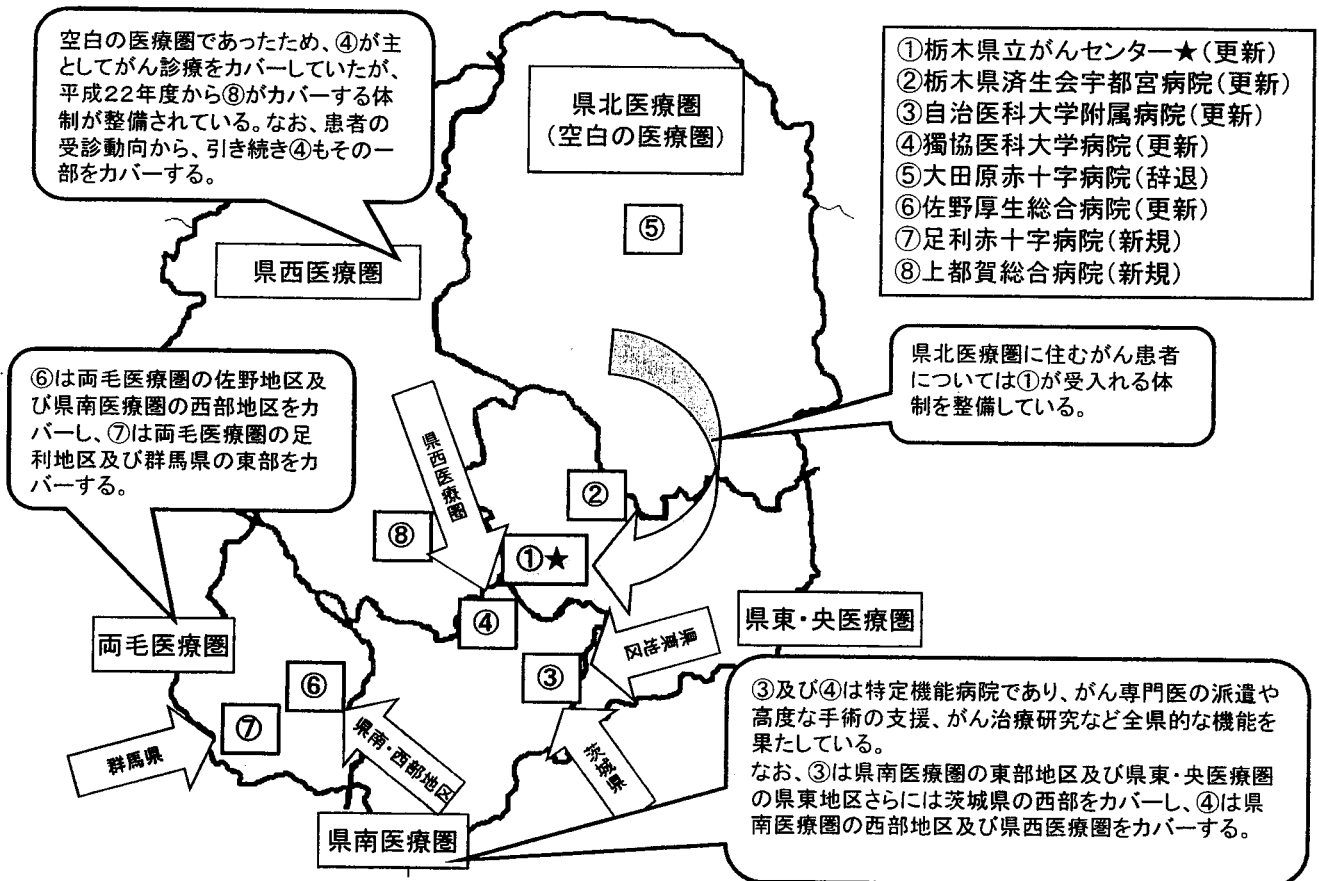
※()内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値 ※申請区分は資料3の作成要領を参照のこと
 ※一枚につき11病院を超える場合には、2枚にわたって表を作成してください。

資料2

都道府県 or 地域	申請 区分	病院名	年間入院患者 数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計										放射線治療		がんに係る薬 物療法(6月 ~7月の集 計)		緩和 ケア	相談 支援 センター	地域 連携	
			年間 新 入 院 患 者 数 (1月 ~12 月)	年間 新 入 院 患 者 数 に 占 め る が ん 患 者 の 割 合 (%)	悪 性 腫 瘍 手 術 総 数	肺がん		胃がん手術		大腸がん 手術		肝臓がん		乳がん		年間患者実 数 (1月~12月)		薬物療法 の べ 患 者 数				
						開胸 手術	胸腔 鏡 下 手 術	開腹 手術	内 視 鏡 手 術 粘 膜 切 除 術 (EM R)	開腹 手術	内 視 鏡 手 術	開腹 手術	ラ ジ オ 波 焼 灼 療 法	乳 癌 手 術	乳房 再 建 術 (乳 房 切 除 後) 二 期 的 に 行 う も の	体 外 照 射	小 線 源 治 療	入 院 患 者 数				外 来 患 者 数
1	★ 更新	栃木県立がんセンター	(4,310) 4,276	(91.7) 93.2	(174) 159	(8) 4	(5) 8	(18) 20	(3) 3	(21) 13	(9) 3	(6) 10	(2) 7	(27) 31	(0) 0	(731) 639	(45) 42	(541) 139 116	(14) 12	(759) 903	(0) 2	
2	更新	栃木県済生会宇都宮病院	(3,093) 3,011	(20.8) 20.6	(76) 198	(1) 2	(5) 20	(6) 10	(0) 0	(18) 25	(7) 11	(3) 10	(0) 0	(12) 20	(0) 0	(153) 306	(0) 0	(159) 127 258	(5) 8	(57) 50	(0) 0	
3	更新	自治医科大学附属病院	(5,895) 5,818	(25.9) 26.0	(503) 536	(3) 6	(14) 21	(26) 25	(4) 7	(27) 24	(14) 16	(4) 4	(12) 8	(40) 19	(2) 1	(762) 1,125	(22) 35	(785) 1,175 1,374	(57) 57	(552) 452	(0) 0	
4	更新	獨協医科大学病院	(4,698) 6,190	(20.4) 26.5	(311) 292	(16) 15	(4) 6	(10) 19	(11) 0	(31) 31	(0) 4	(10) 17	(11) 9	(17) 15	(0) 0	(635) 658	(0) 0	(324) 413 500	(33) 48	(62) 64	(0) 0	
5	辞退	大田原赤十字病院	(1,010) 967	(14.3) 13.0	(64) 54	(1) 3	(0) 0	(8) 3	(0) 3	(11) 8	(2) 1	(0) 0	(0) 0	(9) 14	(0) 0	(35) 78	(0) 0	(68) 60 72	(8) 9	(45) 36	(0) 0	
6	更新	佐野厚生総合病院	(1,378) 1,239	(16.5) 15.7	(119) 56	(1) 0	(2) 3	(9) 10	(9) 3	(15) 12	(47) 5	(1) 0	(3) 2	(10) 7	(0) 0	(101) 93	(0) 0	(84) 52 72	(11) 10	(42) 67	(0) 0	
7	新規	足利赤十字病院	2,059	19.9	169	0	5	8	1	17	6	2	0	7	0	239	0	106	150	4	41	0
8	新規	上都賀総合病院	1,159	25.1	31	0	0	7	0	4	1	0	0	4	0	50	0	16	25	6	26	0

資料3

栃木県 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向



1. 交通事情及び人口規模等から県内に7～8箇所の拠点病院が必要

本県の状況は、地理的に県内外からの交通アクセスが良く、県内の医療機関には医療圏や県域を越えてがん患者が受診している。しかし、人口規模が同じ200万人程度の他県と比較すると、1医療圏当たり及び1拠点病院当たりの人口が平均を大きく上回っており、がん医療の均てん化を推進するためには、人口25～30万人当たりの圏域に1箇所、すなわち県全体で7～8箇所の拠点病院が必要である。

2. 都道府県拠点病院・特定機能病院・地域拠点病院による重層的な整備と効果(別紙参照)

都道府県拠点病院及び特定機能病院による全県的な機能(がん診療に携わる医療従事者の育成、がん専門医の派遣、高度先進医療の提供、がん治療の研究等)や、地域拠点病院による地域レベルの機能(地域におけるがん医療の提供、放射線療法及び化学療法の推進、緩和ケアの推進等)を重層的に整備し、相互の連携の下でその機能を効果的に発揮することによりがん医療水準の向上、患者に密接したがん医療等を充実させることができる。

(主な効果)

- ①がん医療の均てん化の推進及びがん医療の質の向上(がんによる死亡者数の減少...H29年度までに20%減少)
- ②地域との連携強化(地域連携クリティカルパスの整備等...H24年度までに8病院)
- ③緩和ケアの充実(緩和ケア研修会を修了した医師...H24年度までに1,000人)
- ④患者及び家族に対する支援(拠点病院を中心としたネットワークの構築や相談・支援センターの充実・強化)
- ⑤がん登録事業の一層の推進(DCO割合...H24年度までに25%以下)

3. 各圏域を担当する拠点病院(別紙参照)

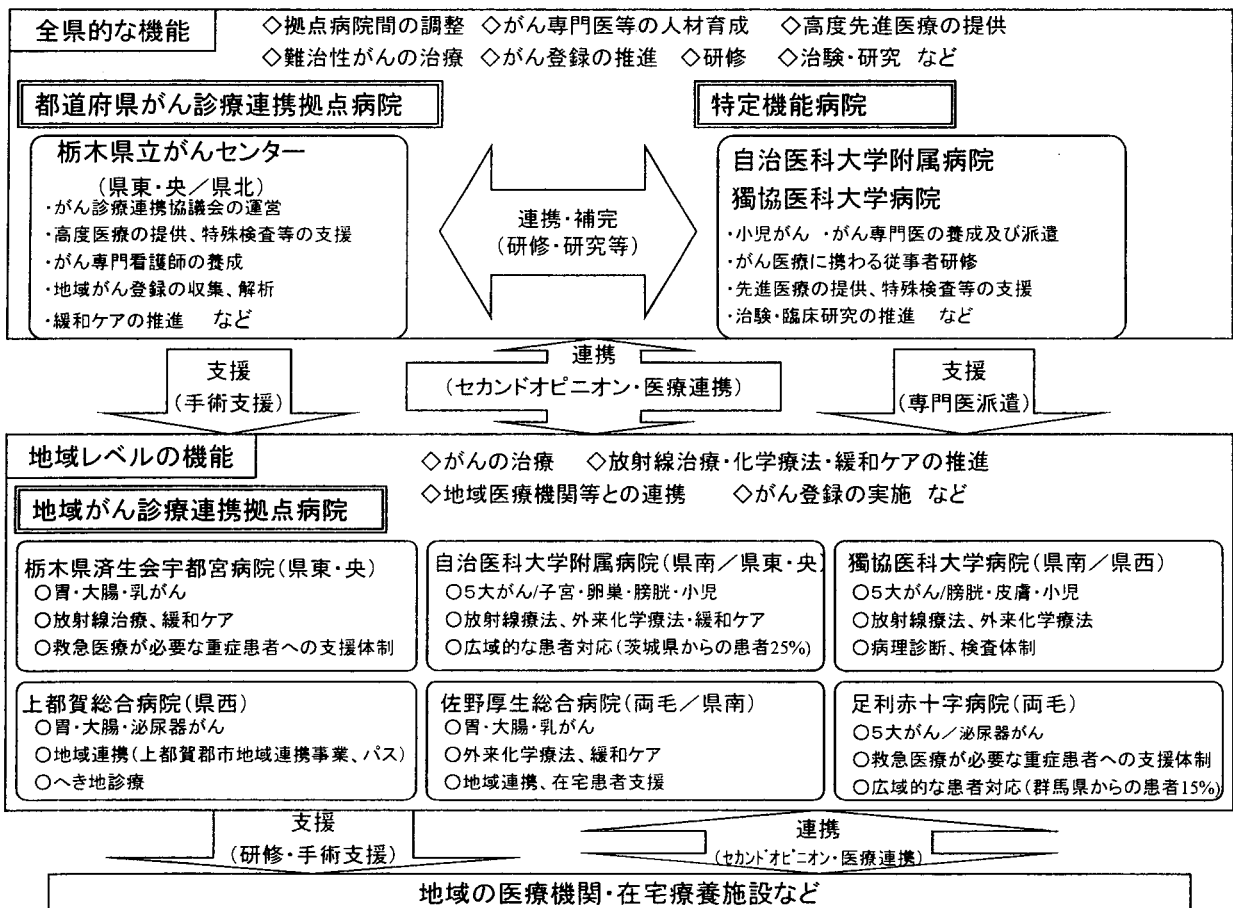
- ①県東・中央医療圏: 本県の人口の1/3を有する医療圏。患者の受療動向や交通アクセス等から、従来どおり都道府県拠点病院である県立がんセンター及び地域拠点病院である済生会宇都宮病院が担当。
- ②県南医療圏: 人口密度が県内で一番高い医療圏。患者の受療動向や交通アクセス等から、従来どおり特定機能病院として2つの大病院(自治医科大学附属病院・獨協医科大学病院)が担当。
- ③県北医療圏: 指定を受けていた大田原赤十字病院が指定要件を具備せず、今回、拠点病院として推薦しないこととなったが、患者の受療動向及び交通アクセス等から県立がんセンターがカバー。
- ④県西医療圏: 医療圏の面積が一番広く、過疎地域を包含している医療圏。地域との連携体制が整っていること及びへき地診療を実施していること等から新たに上都賀総合病院が担当。
- ⑤両毛医療圏: 群馬県と隣接しており交通アクセスも良いことから生活圏が栃木県を超えて構成されている医療圏。従来より指定を受けている佐野厚生総合病院及び新たに足利赤十字病院が担当するが、佐野厚生総合病院については地域に密着した在宅患者支援及び合併症や複雑な病態の患者に対応することができ、足利赤十字病院については県域を越えた広域的な患者及び救急医療が必要な患者に対応することができる等、医療機関の役割分担がなされている。

4. がん患者や家族代表等を構成員とする検討会により推薦病院を決定

今回の拠点病院の選考にあたり、臨床医はもとより学識経験者やがん患者・家族の代表等で構成する「栃木県がん総合対策検討会」に諮った上で、国に推薦する病院を決定した。

【別紙】

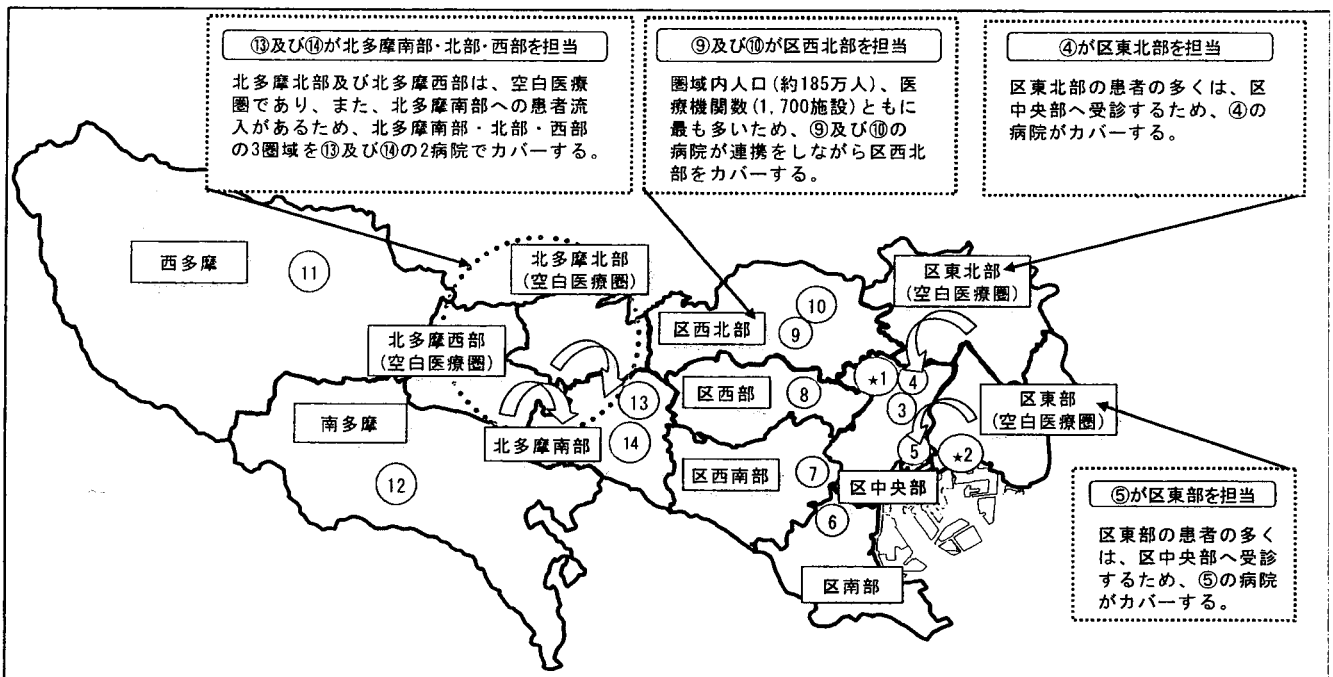
栃木県のがん診療連携体制



13 東京都

資料 1

東京都 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向



- | | | | |
|----------------|-------------|-------------------|-------------|
| ① 東京都立駒込病院★ | (平成20年2月8日) | ⑧ 東京女子医科大学病院 | (平成20年2月8日) |
| ② 癌研究会有明病院★ | (平成20年2月8日) | ⑨ 日本大学医学部附属板橋病院 | (平成20年2月8日) |
| ③ 東京大学医学部附属病院 | (平成20年2月8日) | ⑩ 帝京大学医学部附属病院 | (平成20年2月8日) |
| ④ 日本医科大学付属病院 | (平成20年2月8日) | ⑪ 青梅市立総合病院 | (平成20年2月8日) |
| ⑤ 聖路加国際病院 | (平成20年2月8日) | ⑫ 東京医科大学八王子医療センター | (平成20年2月8日) |
| ⑥ NTT東日本関東病院 | (平成20年2月8日) | ⑬ 武蔵野赤十字病院 | (平成20年2月8日) |
| ⑦ 日本赤十字社医療センター | (平成20年2月8日) | ⑭ 杏林大学医学部付属病院 | (平成20年2月8日) |

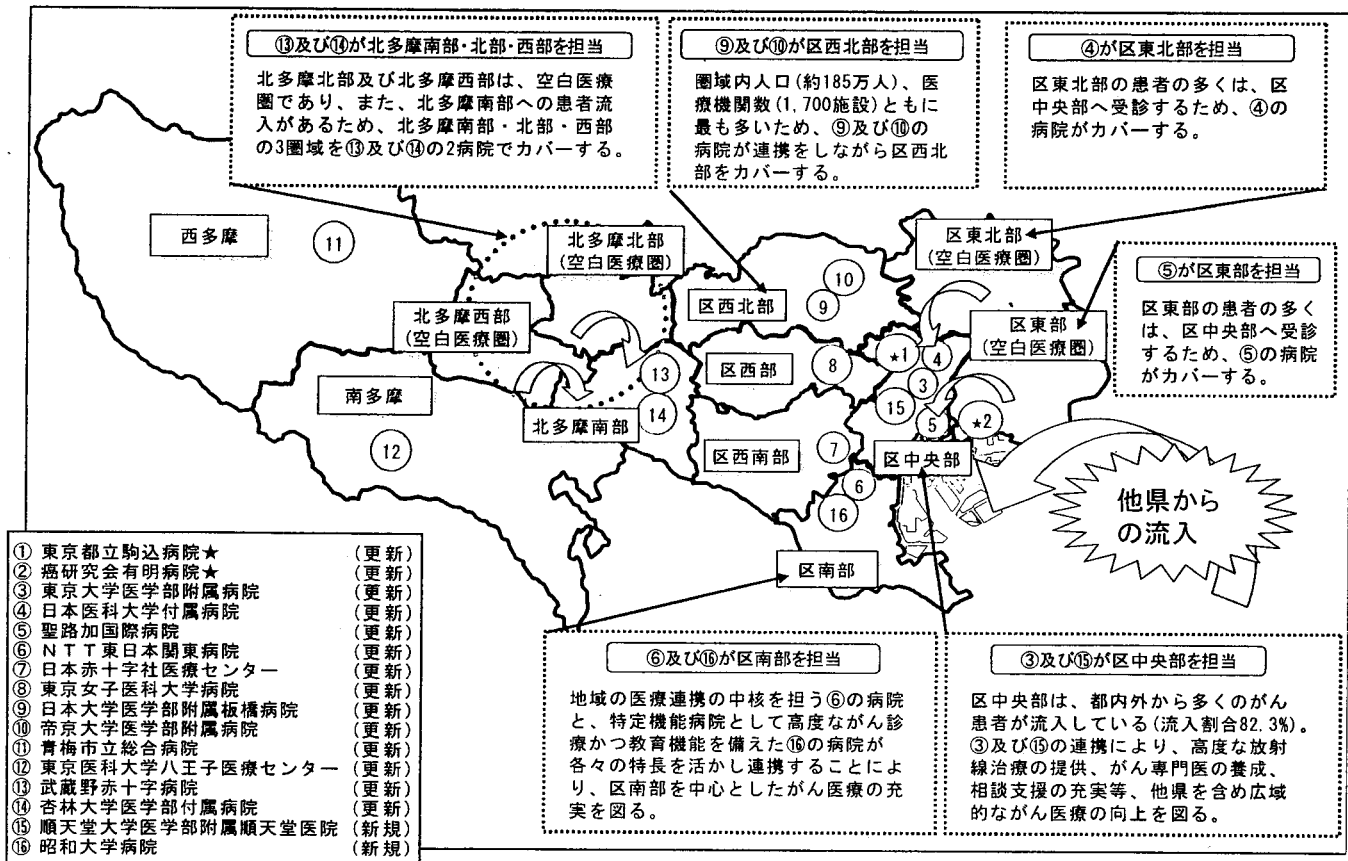
※()内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値 ※申請区分は資料3の作成要領を参照のこと
 ※一枚につき11病院を超える場合には、2枚にわたって表を作成してください。

資料2

都道府県 or 地域	申請 区分	病院名	年間入院患者 数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計											放射線治療		がんに係る 薬物療法 (6月~7月 の集計)		緩和 ケア	相談 支援 センター	地域 連携
			年間 新 入院 患者 数 (1月 ~12 月)	年間 新 入院 患者 数に 占める がん 患者 の割 合 (%)	悪 性 腫 瘍 手 術 総 数	肺がん		胃がん手術		大腸がん 手術		肝臓がん		乳がん		年間患者 実数 (1月~12月)		薬物療法の べ患者数		緩和 ケア チ ーム 対 する 新 規 診 療 依 頼 数 (6~7 月 の 集 計)	相 談 支 援 セ ン ター 相 談 件 数 (6~7 月 の 集 計)	退 院 時 共 同 指 導 料 2 (6~7 月 の 集 計)
						開胸 手術	胸腔 鏡下 手術	開腹 手術	内視 鏡手 術 粘 膜 切 除 術 (EMR)	開腹 手術	内視 鏡手 術	開腹 手術	ラジ オ 波 焼 灼 療 法	乳癌 手術	乳房 再 建 術 (乳 房 切 除 後) 二 期 的 に 行 う も の	体 外 照 射	小 線 源 治 療	入 院 患 者 数	外 来 患 者 数			
1	★ 更新	都立駒込病院	(8291) 8475	(59.7) 62.1	(650) 397	(2) 3	(30) 25	(18) 27	(0) 8	(40) 65	(75) 0	(3) 9	(0) 1	(40) 52	(12) 2	(1151) 1065	(30) 43	(266) 521	(512) 537	(64) 30	(3186) 2580	(0) 11
2	★ 更新	癌研有明病院	(10884) 11889	(84.7) 85.8	(1018) 900	(34) 21	(35) 44	(29) 49	(16) 59	(43) 31	(12) 30	(10) 32	(0) 9	(203) 221	(22) 0	(1691) 1672	(268) 104	(832) 1109	(1293) 3940	(151) 70	(969) 1444	(0) 0
3	更新	東大病院	(7988) 8736	(32.0) 34.0	(352) 528	(5) 8	(17) 13	(35) 18	(1) 1	(25) 17	(10) 17	(33) 22	(168) 159	(22) 29	(0) 0	(847) 932	(52) 61	(492) 551	(284) 377	(56) 107	(62) 74	(3) 0
4	更新	日医大病院	(5040) 5322	(29.0) 30.8	(381) 454	(3) 9	(12) 13	(8) 9	(2) 0	(13) 8	(1) 0	(9) 0	(5) 8	(21) 23	(1) 0	(670) 728	(67) 75	(288) 302	(618) 342	(15) 24	(39) 214	(0) 1
5	更新	聖路加病院	(3325) 3346	(20.5) 20.6	(278) 275	(3) 6	(0) 0	(8) 12	(1) 0	(24) 3	(11) 2	(2) 3	(3) 3	(125) 139	(1) 0	(860) 824	(27) 15	(115) 116	(404) 459	(30) 23	(114) 434	(1) 0
6	更新	NTT関東病院	(5149) 5342	(32.9) 33.5	(178) 301	(8) 10	(11) 14	(16) 17	(0) 0	(29) 30	(18) 20	(1) 1	(48) 52	(14) 9	(0) 0	(680) 687	(0) 454	(454) 448	(324) 448	(16) 35	(935) 884	(0) 0
7	更新	日赤医療C	(3112) 3768	(20.2) 23.3	(241) 181	(2) 4	(1) 1	(8) 13	(0) 0	(22) 29	(1) 0	(10) 18	(13) 0	(12) 15	(0) 0	(527) 632	(0) 0	(216) 234	(402) 246	(41) 37	(103) 161	(5) 9
8	更新	東京女子医大	(5581) 5748	(24.0) 24.2	(486) 412	(1) 2	(13) 29	(30) 21	(2) 0	(23) 30	(4) 4	(17) 14	(13) 20	(40) 34	(0) 0	(1172) 987	(56) 83	(291) 323	(562) 756	(13) 15	(117) 738	(5) 7

都道府県 or 地域	申請 区分	病院名	年間入院患者 数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計											放射線治療		がんに係る 薬物療法 (6月~7月 の集計)		緩和 ケア	相談 支援 センター	地域 連携
			年間 新 入院 患者 数 (1月 ~1 2月)	年間 新 入院 患者 数に 占める がん 患者 の割 合 (%)	悪 性 腫 瘍 手 術 総 数	肺がん		胃がん手術		大腸がん 手術		肝臓がん		乳がん		年間患者 実数 (1月~12月)		薬物療法の べ患者数		緩和 ケア チ ーム 対 する 新 規 診 療 依 頼 数 (6~7 月 の 集 計)	相 談 支 援 セ ン ター 相 談 件 数 (6~7 月 の 集 計)	退 院 時 共 同 指 導 料 2 (6~7 月 の 集 計)
						開胸 手術	胸腔 鏡下 手術	開腹 手術	内視 鏡手 術 粘 膜 切 除 術 (EMR)	開腹 手術	内視 鏡手 術	開腹 手術	ラジ オ 波 焼 灼 療 法	乳癌 手術	乳房 再 建 術 (乳 房 切 除 後) 二 期 的 に 行 う も の	体 外 照 射	小 線 源 治 療	入 院 患 者 数	外 来 患 者 数			
9	更新	日大板橋病院	(4245) 4334	(22.9) 24.0	(265) 201	(6) 6	(1) 1	(4) 8	(0) 0	(15) 21	(5) 2	(20) 21	(1) 0	(29) 37	(0) 1	(568) 661	(18) 11	(242) 330	(226) 650	(22) 9	(64) 103	(0) 0
10	更新	帝京大病院	(2587) 3243	(17.0) 19.1	(204) 246	(0) 0	(18) 9	(8) 11	(0) 1	(20) 8	(0) 1	(7) 9	(3) 0	(19) 32	(0) 0	(433) 547	(85) 12	(236) 209	(182) 225	(11) 30	(476) 274	(0) 0
11	更新	青梅市立病院	(2917) 2378	(25.0) 20.4	(92) 93	(4) 7	(0) 0	(13) 6	(0) 4	(15) 19	(3) 2	(0) 1	(3) 2	(7) 16	(0) 0	(202) 192	(8) 2	(98) 114	(264) 202	(22) 11	(84) 102	(0) 0
12	更新	八王子医療C	(2533) 2861	(21.0) 22.1	(181) 175	(21) 12	(3) 0	(10) 10	(0) 3	(15) 13	(2) 0	(7) 3	(1) 0	(20) 25	(0) 0	(419) 447	(0) 0	(197) 170	(154) 176	(40) 41	(57) 35	(0) 0
13	更新	武蔵野赤十字	(3427) 3530	(20.2) 20.2	(217) 333	(5) 4	(12) 1	(16) 18	(2) 0	(30) 30	(38) 79	(6) 0	(33) 60	(28) 38	(0) 0	(403) 420	(0) 0	(216) 534	(174) 268	(41) 17	(363) 671	(1) 0
14	更新	杏林大病院	(3549) 3284	(17.6) 15.5	(254) 163	(5) 16	(0) 8	(7) 7	(1) 1	(10) 35	(2) 6	(0) 6	(2) 9	(21) 36	(0) 0	(452) 563	(32) 28	(419) 403	(543) 424	(23) 30	(176) 351	(0) 0
15	新規	順天堂医院	5338	23.7	367	1	54	21	0	17	19	10	2	78	0	800	38	315	666	49	133	0
16	新規	昭和病院	3795	23.6	243	1	5	7	6	5	6	6	4	22	0	566	68	267	171	37	228	0

東京都 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向



他道府県からの患者流入割合が約40%

○ 拠点病院のがん患者のうち約4割が他県からの流入患者(主に埼玉、神奈川、千葉)

○ 拠点病院におけるがん患者の診断時居住地道府県

居住地	割合
東京都	39.3%
他道府県	60.7%

都内の拠点病院は、他県のがん患者・がん医療をも支えている

二次医療圏を越えた受療動向

○ 全国最多の医療機関数、交通網の発達 ⇒ 医療機関の診療圏域が交錯

○ 特に、区中央部においては、約8割が他圏域からの患者

圏域	割合
区中央部 (他県患者含む)	82.3%
圏域住民	17.7%

都の人口・がん患者数は全国的に突出

- 都の人口 約1,300万人
- 都民の総がん患者数 約13万5千人
- 医療圏の平均人口 約97万人 ⇒ 全国平均(約37万人)の約2.6倍 ⇒ 人口規模が100万人を超える医療圏: 区西北部(約185万人)、区南部(約105万人)、区西南部(約134万人)など、7医療圏

- 都内共通の地域連携パスの整備 (24の拠点病院・認定病院、国立がんセンター中央病院及び都医師会が協力し、検討・作成)
- 医師緩和ケア研修の充実
- 東京都がん診療連携協議会による連携

○ 都における拠点病院の充実

○ 人口、患者の受療動向など、都の地域特性を踏まえ、⇒ 都道府県拠点2病院、地域拠点14病院を推薦

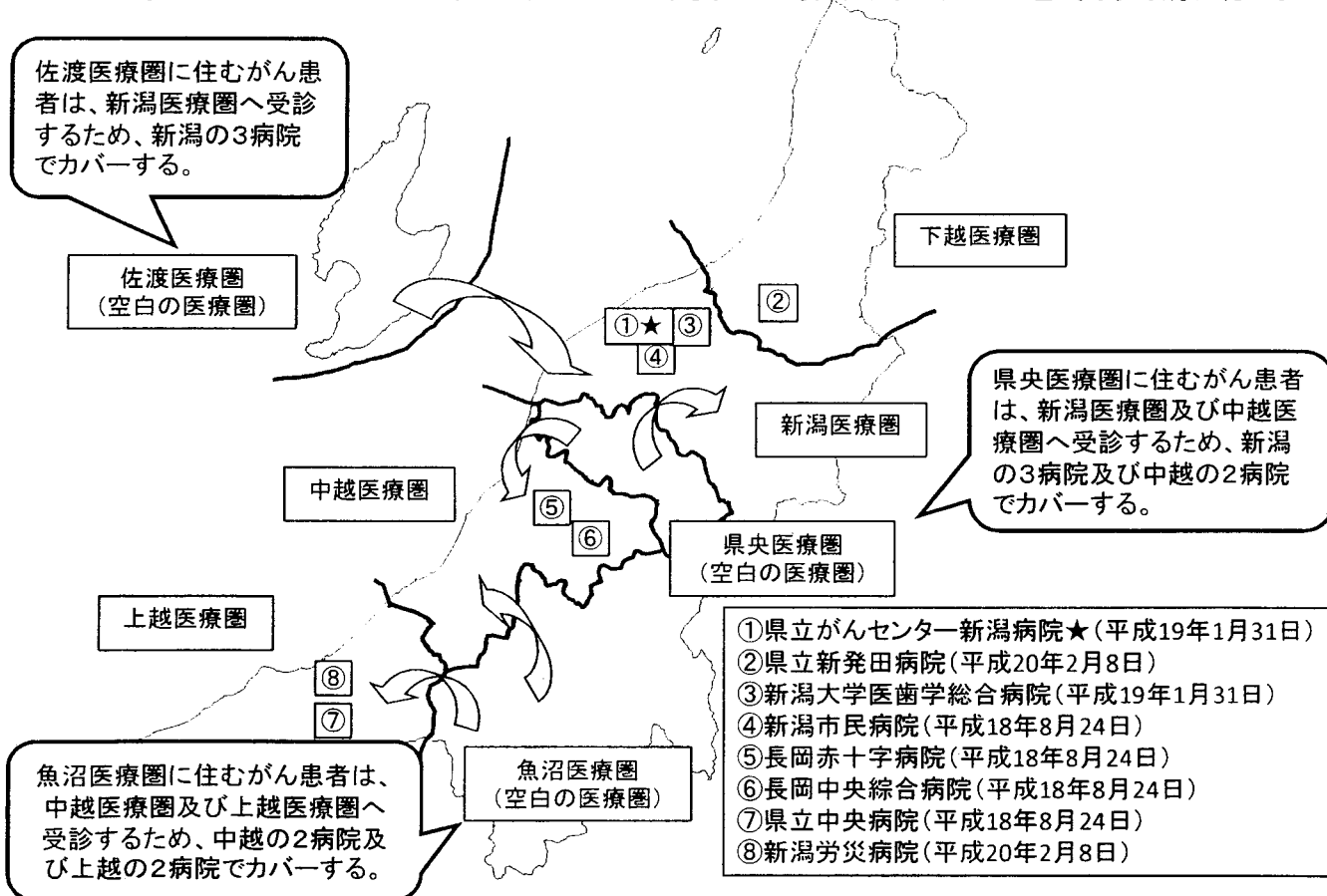
二次医療圏を単位としたがん医療連携を基本としつつ、都内共通の地域連携パス(本年2月から5大がんの地域連携パス試行版を運用)を活用するなどして、力のある病院を中心に圏域を越えた網目状のネットワークを構築し、都全域におけるがん医療水準の向上を図っていく。

15 新潟県

-40-

資料 1

新潟県 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向



-41-

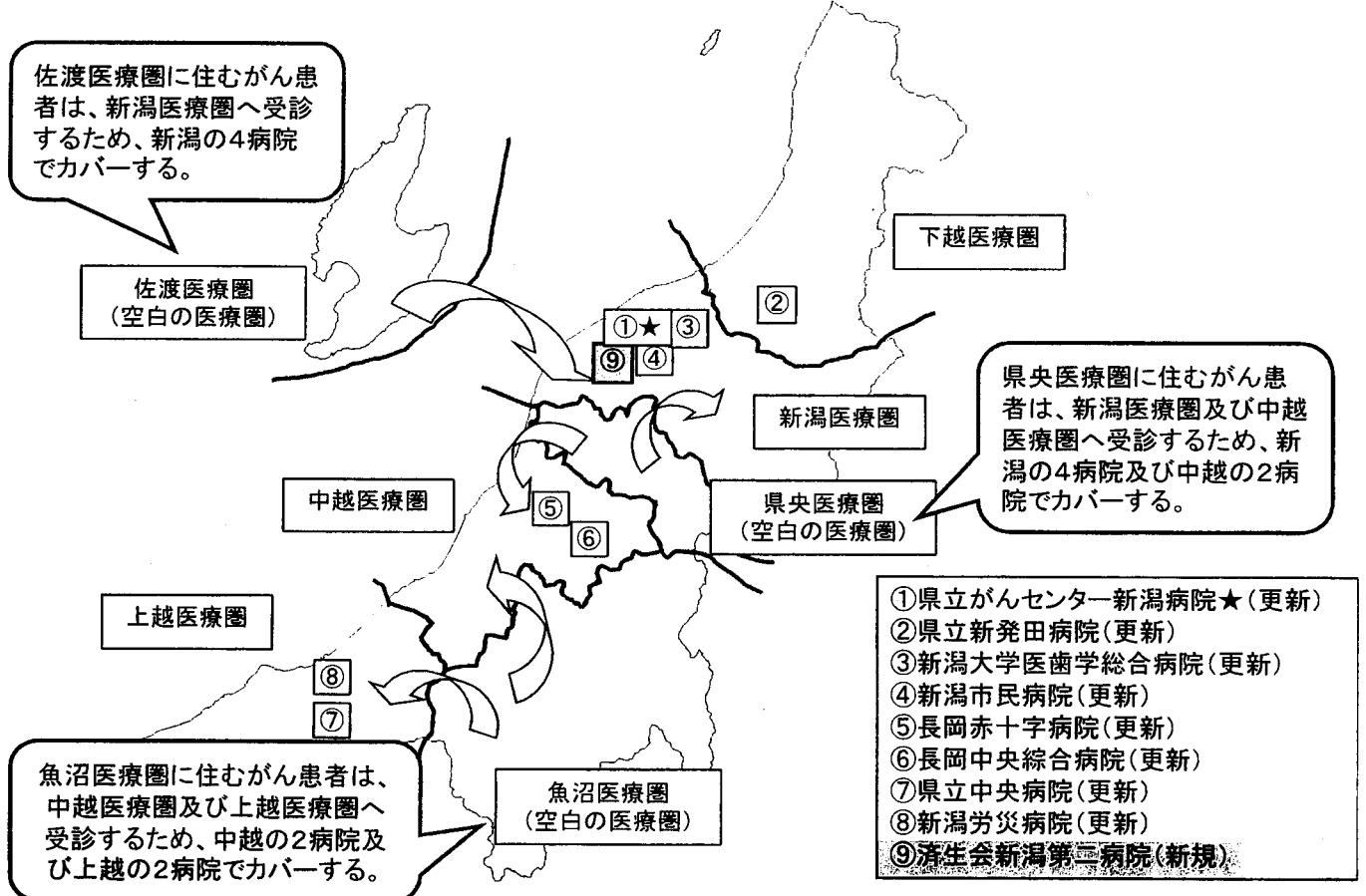
※()内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値 ※申請区分は資料3の作成要領を参照のこと
 ※一枚につき11病院を超える場合には、2枚にわたって表を作成してください。

資料2

都道府県 or 地域	申請 区分	病院名	年間入院患者 数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計													放射線治療		がんに係る 薬物療法 (6月~7月 の集計)		緩和 ケア	相談 支援 センター	地域 連携	
			年間新 入院 患者 数(1月 ~12月)	年間 新入 院者 数に 占め るが ん患 者の 割合 (%)	悪性 腫瘍 手術 総数	肺がん		胃がん手術		大腸がん手 術		肝臓がん		乳がん		年間患者実 数(1月~12 月)		薬物療法 の べ患者数		緩和 ケア チー ムに 対し る新 規診 療依 頼数 (6~7 月の 集計)	相談 支援 セン ター 相談 件数 (6~ 7月 の集 計)				退院 共同 導料2 (6~ 7月 の集 計)
						開胸 手術	胸腔 鏡手 術	開腹 手術	内視 鏡手 術粘 膜切 除術 (EMR)	開腹 手術	内視 鏡手 術	開腹 手術	ラジ オ波 焼灼 療法	乳癌 手術	乳房 再建 術(乳 房切 除後) 二期 的に 行う もの	体外 照射	小線 源治 療	入院 患者 数	外来 患者 数						
1	★	更新	県立がんセンター新潟病院	(9,904) 9,506	(88.0) 85.7	(300) 391	(21) 32	(14) 13	(36) 37	(1) 1	(47) 33	(96) 24	(10) 2	(0) 4	(55) 67	(0) 0	(1,189) 1,163	(95) 200	(435) 467	(290) 643	(18) 4	(811) 400	(7) 7		
2		更新	県立新発田病院	(2,217) 2,275	(22.3) 22.7	(89) 150	(6) 6	(0) 1	(13) 26	(0) 0	(18) 11	(4) 1	(1) 1	(0) 6	(7) 17	(0) 0	(218) 266	(0) 0	(178) 184	(202) 389	(6) 3	(16) 24	(0) 0		
3		更新	新潟大学医歯学総合病院	(1,541) 1,607	(12.7) 13.4	(371) 250	(7) 8	(1) 2	(7) 7	(0) 0	(4) 9	(9) 8	(3) 3	(13) 8	(14) 15	(1) 1	(438) 408	(20) 22	(214) 192	(154) 168	(4) 7	(2) 337	(0) 0		
4		更新	新潟市民病院	(796) 966	(5.8) 4.6	(130) 139	(7) 6	(0) 1	(8) 6	(0) 0	(2) 27	(0) 12	(7) 5	(0) 0	(24) 29	(0) 0	(205) 293	(0) 0	(243) 174	(94) 257	(9) 7	(16) 54	(0) 0		
5		更新	長岡赤十字病院	(3,516) 3,866	(25.4) 27.3	(100) 145	(17) 13	(1) 14	(9) 13	(0) 1	(11) 10	(40) 42	(0) 2	(0) 4	(22) 26	(0) 0	(383) 387	(0) 0	(343) 506	(261) 366	(18) 15	(105) 260	(0) 0		
6		更新	長岡中央綜合病院	(3,393) 3,627	(26.8) 27.0	(230) 239	(2) 1	(7) 19	(24) 13	(21) 13	(25) 19	(6) 3	(1) 0	(0) 3	(5) 12	(1) 1	(0) 203	(0) 0	(235) 178	(131) 179	(7) 3	(76) 43	(0) 0		
7		更新	県立中央病院	(1,806) 2,606	(17.7) 25.8	(33) 140	(6) 12	(4) 0	(18) 13	(3) 0	(15) 21	(0) 0	(3) 2	(0) 0	(10) 14	(0) 0	(410) 394	(0) 0	(139) 128	(174) 209	(3) 2	(34) 20	(3) 0		
8		更新	新潟労災病院	(1,102) 640	(18.3) 11.4	(53) 85	(4) 1	(4) 2	(5) 6	(0) 0	(4) 9	(0) 0	(0) 1	(0) 2	(2) 0	(0) 0	(0) 36	(0) 0	(26) 33	(74) 54	(1) 5	(134) 90	(0) 0		
9		新規	済生会新潟第二病院	(2,282) 2,447	(24.2) 26.1	(106) 129	(7) 5	(2) 0	(5) 11	(0) 2	(12) 18	(1) 3	(4) 0	(22) 33	(8) 10	(2) 0	(146) 136	(0) 0	(340) 299	(232) 129	(3) 2	(202) 213	(0) 0		

資料3

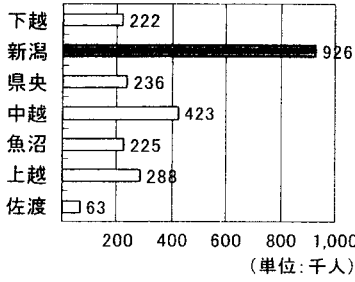
新潟県 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向



新潟県 指定推薦等に係る考え方

1 医療提供体制、相談支援等の充実

【医療圏別の人口】



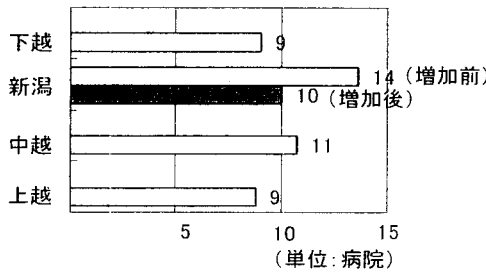
【患者の受療動向】

患者住所	医療機関所在地								総計
	下越	新潟	県央	中越	魚沼	上越	佐渡		
下越	1,158	590		1					1,749
新潟	118	4,883	90	3					5,094
県央	1	605	342	178					1,126
中越		208	27	1,022	17	5			1,279
魚沼		180		158	496	25			859
上越	2	124	1	4		1,092			1,224
佐渡		206					49		255
総計	1,279	6,796	460	1,366	514	1,122	49		11,586

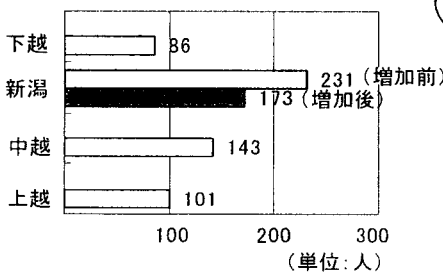
- 当県の人口は、新潟医療圏に集中しています(県全体の約39%)。また、新潟圏域内の医療機関を受診する患者のうち、約28%が他圏域に居住する患者であり、患者の流入が非常に多くなっています。
- 空白医療圏である県央・魚沼・佐渡の患者は、隣接医療圏の医療機関を受診する傾向にあります。

2 連携協力体制等の一層の推進

【1拠点病院あたりの病院数】



【1拠点病院あたりのがん診療に携わる医師数】



新潟医療圏に
1病院増加

患者がより身近な地域で質の高いがん医療を受けられるとともに、各病院の診療機能を生かした連携体制の構築及び緩和ケア研修体制の推進等が一層図られます。

病院数、医師数が新潟医療圏の医療機関に集中しています。

3 指定後の新潟県のがん診療体制

【全県レベルの機能】

- ・日本に多いがん以外のがんに対応
- ・高度の診断・診療機能
- ・地域がん診療連携拠点病院との連携による本県のがん医療体制の充実・向上(県立がんセンター新潟病院)

新潟労災病院
(アスベスト疾患センター)

- ・県内唯一のアスベスト疾患センターを設置し、全県に対応

県立がんセンター新潟病院
(県がん診療連携拠点病院)

- ・日本に多いがん以外のがんについて、全県に対応(特に、血液がん等では全国有数の診療実績)
- ・地域がん診療連携拠点病院との連携

各病院が、それぞれの得意分野において他病院との連携や指導・普及の取組を行うことで、県内のがん診療の質の向上が図られます。

【2次医療圏レベルの機能】

連携によるがん医療体制の充実・向上

- ・主に日本に多いがん(肺、胃、肝、大腸、乳がん)に対応
- ・上記の他、各病院が専門とするがんに対応
- ・地域のがん診療を担う病院やかかりつけ医との連携の強化

下越医療圏

【下越医療圏を1病院で対応】

県立新発田病院

- ・圏域の基幹的な医療機関
- ・圏域内の医療従事者の研修の実施等、地域のがん診療の質の向上に寄与

新潟医療圏

【新潟医療圏、県央医療圏の一部、佐渡医療圏を4病院で対応】

県立がんセンター新潟病院

- ・定位照射装置、PET等で高度な医療を提供
- ・がん登録の向上に重要な役割

新潟大学医歯学総合病院

- ・希少ながんに全県対応
- ・放射線療法・化学療法・手術の全てで高度な治療
- ・肝疾患診療連携拠点病院

新潟市民病院

- ・消化器がんへの鏡視下手術は県内最多の手術数、手術の後進育成に中心的役割
- ・県内病院の緩和ケア体制整備・普及に指導的役割

済生会新潟第二病院

- ・肝がんは全国有数の実績、肝がんに関する研修・教育等で重要な役割
- ・サロンの場の提供など、患者会を積極的に支援

中越医療圏

【中越医療圏、県央医療圏の一部、魚沼医療圏の一部を2病院で対応】

長岡赤十字病院

- ・肺がん等で高い実績
- ・患者支援チームによる質の高いがん医療の提供

長岡中央総合病院

- ・連携バスを整備し、協議会でのバス検討に重要な役割
- ・がん予防にも尽力
- ・外来化学療法の充実

上越医療圏

【上越医療圏、魚沼医療圏の一部を2病院で対応】

県立中央病院

- ・上部消化器腫瘍に重点
- ・隣接圏域も対象に高度な放射線治療の提供

新潟労災病院

- ・県内唯一のアスベスト疾患センター
- ・我が国に多いがん全ての連携バスを整備

4 指定要件(原則)を満たしていない病院

(1) 病院名 長岡中央総合病院

(2) 未充足項目 放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する専従又は専任医師の配置(原則常勤)

(3) 充足状況等 現在、医師を4名配置し、問題なく医療を提供しているが、いずれも非常勤医師である。当該病院としては、今後とも早期の常勤化を目指して新潟大学に働きかけを行っていくこととしている。